

かえる倶楽部タイムズ

特集

「脳外科の手術で治るふらつき・物忘れ」

- ふらつきや物忘れは一般診療でよく経験する症状ですが、脳外科の手術で治る疾患がかくれている可能性があります。それらのうち**代表的なものが慢性硬膜下血腫と特発性正常圧水頭症**で、CTやMRIなどの画像検査で診断可能です。(図1, 2)



図1:慢性硬膜下血腫のCT(水平断)

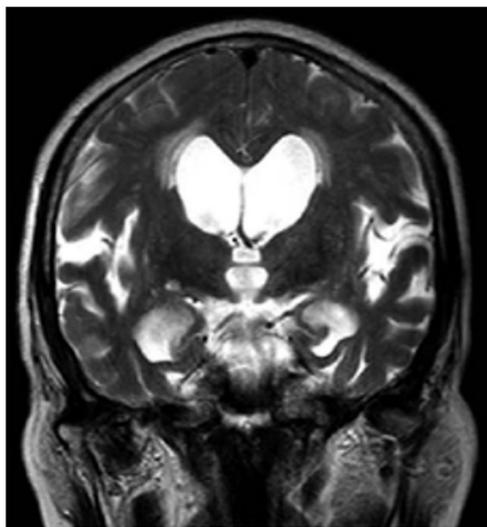


図2:特発性正常圧水頭症のMRI(冠状断)



- 慢性硬膜下血腫**は主に頭部外傷が原因で、軽微な外傷後1ヵ月程度で硬膜下に血種が生じ、増大すると脳を圧迫して**ふらつきや物忘れを含めた様々な神経症状が出現します**。神経症状が認められる場合には局所麻酔下での穿頭術を行い、手術により症状は劇的に改善します。
- 水頭症は脳卒中などが原因となって二次的にも認められますが、原因が特定できない**特発性正常圧水頭症**は高齢者に多く発症します。**特発性正常圧水頭症**の三徴候は**歩行障害(ふらつき)・認知症(物忘れ)・尿失禁**で、タッフテスト(髄液排除試験)で症状が改善すればシャント術(脳室腹腔短絡術もしくは腰椎腹腔短絡術)の適応となり、手術は80%で効果があるといわれています。
- 先生方の診療におかれまして、慢性硬膜下血腫や特発性正常圧水頭症が疑われる患者様に対しては、**地域連携室へご用命いただければ脳神経外科外来担当医が対応させていただきます**。

関西電力病院

脳神経外科

部長 中島 英樹

日本脳神経外科学会 専門医・指導医

日本脳卒中学会 専門医・指導医

日本脳卒中の外科学会 技術指導医

日本脳神経外科学会近畿支部 学術評議員



【連絡先】 平日 8:30~17:00、土曜日 8:30~12:00 地域医療連携室 (電話)06-7501-1406
上記以外の時間帯は、代表電話 06-6458-5821 へご連絡下さい。

お知らせ

「総合診断科」のご案内

関西電力病院では、患者さんにご紹介頂く先生方の利便性向上を目的として「総合診断科」を開設しております。診療科の特定が困難等、お困りの際は是非ご紹介下さい。

【ご紹介頂く対象となる患者様】

不明熱や、症状・病変が複数臓器にまたがる疾患等、診療科の特定が困難、あるいは複数の診療科への紹介が必要な患者さんをご紹介下さい。

当院病院長が中心となって診療を担当し、診断結果に基づいて適切な専門診療科へ繋がります。

【診療日程】 火曜日(午前)

◎ご紹介頂く際は、地域医療連携室までお申し込み下さい。

Facebook

 Facebook

<https://www.facebook.com/kanden.hospital/>



Twitter

 Twitter

https://twitter.com/kanden_hsp

